

Ⅱ期（一般、学内）

受験番号	<input type="text"/>	氏名	<input type="text"/>
	<input type="text"/>		

令和7年度

武蔵野大学大学院 言語文化研究科 言語文化コース 入学試験問題・解答用紙（12月15日）

評点

〔小論文〕

評点

以下の4つの設問から1つ選び、1000字程度で論じてください。

なお、問題・解答の余白をメモに使っても構いません。

1. 言語教育における試験は、評価形式の観点から「主観テスト」と「客観テスト」に分類されます。「主観テスト」と「客観テスト」とは、それぞれどのようなテストで、どのような利点と問題点があるか説明してください。そして、問題点を解決するためにどのような方法があるか、具体的な例を挙げながら述べてください。
2. 言語教育の場面で使用される教材や指導法は、特定のイデオロギーや価値観、ステレオタイプなどを反映することがあります。このような状況が問題となり得る具体例を挙げ、それによる影響を説明してください。その上で、この問題を改善するための具体的なアプローチを提案してください。
3. 「異文化接触仮説」とは何か説明してください。またその知見をふまえて、異文化学習プログラムのデザインを行う際に、どのような点に注意すべきであるかについて論じてください。
4. 翻訳において、翻訳者がその言語の文化的背景を理解することの重要性を、「翻訳的忠実性」の観点から論じてください。その際に、特定の文化圏にある要素や現象を他の言語に翻訳する際に直面する困難とその解決策を具体的に挙げて説明してください。

<メモ用余白>

